

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
製作活動では、児童が主体的に学習を進められるように資料や実物見本などを用意し、実際に見たり触れたりしながら課題解決できるようにすることで、達成感をもたせられるようにした。	家庭状況が多様で生活経験に差があり、技能面での個人差が大きい。 与えられた課題には意欲的に取り組むことができるが、自ら進んで考えることには消極的な児童が多い。

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
5年生	家庭科への興味・関心は非常に高いが、手先を使った細かい作業経験が少ないので、裁縫に苦手意識をもっている児童が多い。	作業方法を理解させるために、実演を書画カメラで分かりやすく「見える化」する。
6年生	ミシンの使い方や裁縫の基礎的な知識は定着している児童が多い。調理実習に対しても大変意欲的である。作業に見通しをもって取り組むことが必要である。	作業でつまづいて進まないときは、どこが違うのか、教えてもらったり、調べたりすることで問題を解決しやすい環境を作り準備する。

●学校全体で取り組む内容

道具や用具の安全な使い方を理解させる。実習では、保護者に作業補助のボランティアをお願いし、児童がよりスムーズに学習を進められる環境をつくる。
--